

# 鳥インフルエンザの正しい理解を

1月27日、市内の養鶏農場で高病原性鳥インフルエンザと疑われる事例が発生し、検査の結果、1月29日、インフルエンザウイルスであることが確認されました。

鶏に対して毒性の強いH5N1亜型のA型インフルエンザウイルスでしたが、発生農場からの早期通報、また周辺地域の皆さんの協力などで、迅速な防疫措置に取り組み、感染拡大の防止を図ることができました。

ウイルスの正確な感染経路は不明です。さまざまな感染経路が考えられ、現在のところ、完全な防止策がないことから、今後の地域でも発生する可能性があります。

鳥インフルエンザについて、正しい理解と風評被害の防止にご協力をお願いします。

## 人への感染について

鳥インフルエンザに感染した鶏と接触し、羽や粉末状になったフンを吸い込んだり、触れたりすることによって、大量のウイルスが体内に入ってしまった場合、ごくまれに人に感染することが知られています。

発生現場の近くに住んでいたり、近くを通ったりすることで感染することはありません。

## 鶏卵・鶏肉の安全について

鶏卵・鶏肉を食べることによって、鳥インフルエンザウイルスが人に感染した事例は世界的にも報告がありません。

## 飼っている鳥や野鳥について

### 1 飼育管理について

鳥インフルエンザが発生したからといって、すぐに家庭等で飼育している鳥が感染する心配はありません。

清潔な状態で飼育し、野鳥が近づかないようにするとともに、鳥に触った後は必ずうがいと手洗いをしてください。

なお、飼育中の鳥を野山に放したり、処分することは、法律で禁止されています。

### 2 飼っている鳥が死んだ場合

飼育中の鳥が死んだからといって、すぐに鳥インフルエンザを疑う必要はありませんが、原因

が不明のまま大量に鳥が死んでいる場合などは、死んだ鳥を移動させず、早めに連絡してください。

### 3 死亡した野鳥を見つけた場合

野鳥が死ぬ原因はさまざまです。エサが取れなかったり、環境の変化に耐えられなかったりして死ぬこともあります。複数の野鳥が死んでいるなど、不審な場合には早めに連絡してください。

野鳥は鳥インフルエンザ以外にも、細菌や寄生虫を持っていることがあります。死んだ野鳥を見つけた場合には、素手で直接触らず、ビニール袋に入れてきちんと封をすれば、廃棄物として処理することができます。

■問い合わせ 市家畜伝染病防疫対策本部事務局（農林課内）TEL 0233・高梁家畜保健衛生所（TEL）2077

## 発生からの経過

2月8日現在

1/27

発生農場から高梁家畜保健衛生所に「死亡する鶏が多い」と通報があり、簡易検査の結果、陽性反応。

1/28

市農林課、県や高梁家畜保健衛生所等と今後の対応協議。広報活動等開始。

1/29

発生農場から半径10km以内にある農場からの鶏卵・鶏肉等の移動の自粛を要請。

1/29

検査の結果「H5亜型のA型インフルエンザ」と確定。発生農場から半径10km以内にある農場からの鶏卵・鶏肉等の移動を制限。

1/30

県「高病原性鳥インフルエンザ対策本部」および「現地対策本部」を設置。市「高梁市家畜伝染病防疫対策本部」を設置。

2/1

発生農場の鶏（約1万2000羽）の殺処分を開始。（～31日）周辺農場の鶏のウイルスの分離検査等で陰性が確認され、鶏卵について移動制限の例外を適用。

2/4

高梁地域事務組合クリーンセンターで処分鶏の焼却処分を開始。（～4日）鶏ふん、飼料などの埋却作業を開始。（～6日）

2/7

発生農場の消毒作業を実施し、防疫措置完了。

2/8

鶏肉等の移動制限区域を発生農場から半径5km以内に縮小。5～10kmの区域を搬出制限区域に設定。

# 茨城県筑西市と 友好都市提携を再締結



固い握手を交わす(左から)筑西市の吉澤議長、富山市長と秋岡市長、長原議長

市は茨城県筑西市との友好都市提携を再締結しました。これは、旧高梁市と旧下館市が昭和54年に締結した提携について、市町村合併で新しく「高梁市」と「筑西市」が誕生したことから、あらためて締結することとなったものです。

旧下館市とは、備中松山藩主の水谷勝隆(24ページに関連記事)が元・下館藩主であったことが機縁となり、友好都市として交流が図られてきました。

1月30日、筑西市の富山省三市長、吉澤範夫市議会議長ら5人が来高。両市長、両議長が協約書に署名・調印し、今後の永い交流を誓い合いました。

## 筑西市って

どんなところか。

筑西市は、平成17年3月28日、下館市・関城町・明野町・協和町が合併し誕生。

茨城県西部の中核都市で、人口は約11万人。万葉集にも詠われた筑波山の西側に位置し、市の面積は205・35km<sup>2</sup>です。また、利根川の支川・鬼怒川、小貝川などの河川が市域を南北に貫流し、平坦で肥沃な田園地帯を形成しています。

農業、工業、商業がバランスよく発展した筑西地方随一の産業都市で、特に農業の産出額は全国有数。コシヒカリ、梨、紅こだまスイカ、キュウリなど、さまざまな農産物が生産されています。

このほか、日本一の大神輿が繰り出す「祇園祭り」、大相撲力士との交流「どすこいペア」、花であふれる「ひまわり・コスモスフェスティバル」、小栗伝説を再現する「小栗判官祭り」など、年間を通じて多彩なイベントが行われます。

## みんなで特急「やくも」号を利用しましょう!

JR伯備線特急「やくも」号は、一部列車(上下合わせて5本)が備中高梁駅を通過していましたが、昨年10月1日から全列車(上下合わせて30本)が同駅に停車しています。

しかし、これは6月末までの臨時停車で、7月以降の停車はそれまでの利用実績によって決定されることになっています。

市は、全便停車の恒久化に向け、市議会、高梁商工会議所、備北商工会、市・町観光協会とともに「JR伯備線特急利用促進期成会」を12月に発足。特急「やくも」号の利用促進の啓発活動や賛助団体の募集を行っています。

通勤・通学のほか、買い物や旅行にも便利な特急「やくも」号を、皆さんもぜひご利用ください。



詳しくは、市役所・各地域局、駅などに置いてあるチラシをご覧ください。

■問い合わせ  
JR伯備線特急利用促進期成会事務局(企画課内)  
☎0209



祇園祭り(最終日の「川渡御」)



ひまわりフェスティバル(後ろは筑波山)

## 第1回 市議会臨時会

1月25日、第1回市議会臨時会が開かれ、次の議案が審議・可決されました。

▼財産の処分に関し議会の議決を求めることについて  
：佐原工業団地造成事業用地(成羽町成羽)を売却処分するため